



震災復興応援プロジェクト

森に帰る暮らしの始まり

東北復興の資源は森林資源を基本としよう。

日本人が長い歴史の中で築き上げてきた森林利用の知恵を思い返し、さらに発展させることが、多くの犠牲者に対する生き延びた者の責務ではないだろうか。

(安藤邦廣『森に帰る暮らしの始まり』住宅建築 2011年10月号より)

東日本大震災の被災地であって

隠れ被災地と言われるほど地震波で大きく被災した須賀川市・郡山市。

建物の全壊・大規模半壊による解体で、むきだしの土が目立つこの地で

なぜこれほどの被害が出たのか

地震に強い住まいとはどのような構造なのか

木造は地震に弱いと言われているがそれは本当なのか

伝統工法を現代に甦らせた木造のパイオニア、安藤先生にお話し頂きます。

・日時 平成 23 年 10 月 8 日(土)
午後 2 時開演 (1 時半開場・4 時閉場)

・会場 須賀川市東公民館 講堂
須賀川市和田字柏崎 44

・講師 筑波大大学院教授・建築家
安藤邦廣 先生

宮城県生まれ。九州芸術大学工学部環境設計学科卒業。

東京大学工学部建築学科助手を経て筑波大大学院人間総合学科研究科教授、建築家。

著書に『現代木造住宅論』(INAX出版、1995年)、『職人が語る「木の技」』(建築資料研究社、2002年)、『民家造—素材を生かす技、暮らしを映すかたち』(学芸出版社、2009年)

『住まいを四寸角で考える』(学芸出版社、2005年)、『小屋と倉』(建築資料研究社、2010年)など。

福島県の仮設住宅を板倉造りで設計。



・副題 「板倉造りによる復興住宅の取組」
・定員 150名 聴講無料 (予約不要)
・後援 財団法人 福島県林業会館

主催・問合せ
合同会社 地球と家族を考える会
TEL: 024-923-5400

HP: www.earth-family.co.jp
事務局: 福島県郡山市開成4-28-17
(有)建築工房内

展示場: 福島県須賀川市雨田字後中山136-1



KUMIKO大黒柱と棟木

2011年は国際森林年です。
地球と家族を考える会がつくる

『ふくしまの家KUMIKO』(須賀川市雨田)は
人と地域と地球の未来を木の家から応援しています。